

冷暖房・給湯配管のトラブルを解消する  
サイクロン形エアークレナー

水中の空気を  
効果的に分離除去！



サイクロン形エアークレナーKBCシリーズ ● サイクロン形エアークレナーKBCSシリーズ

# 空気分離器

サイクロン形エアークレナー

# 空気分離器 サイクロン形エアークレパレータ

配管の耐久性を確保するため、空気の分離除去が重要です。  
水中の空気を分離除去することにより酸素が減少し、鉄の腐食が抑制されます。  
サイクロン形エアークレパレータは、水中の空気の分離を行います。

1

## エアロック現象を抑制します。

サイクロン（遠心分離）方式のエアークレパレータのため、低流速域から高流速域の広い範囲で空気の分離が可能です。  
したがって、冷暖房配管のエアロック現象や熱効率の低下を少なくすることが可能です。

2

## 空気流過音が低減できます。

配管内の空気泡がポンプにかみ込まれる音や、配管内の流過音を低減することが可能です。

3

## 配管の耐久性が向上します。

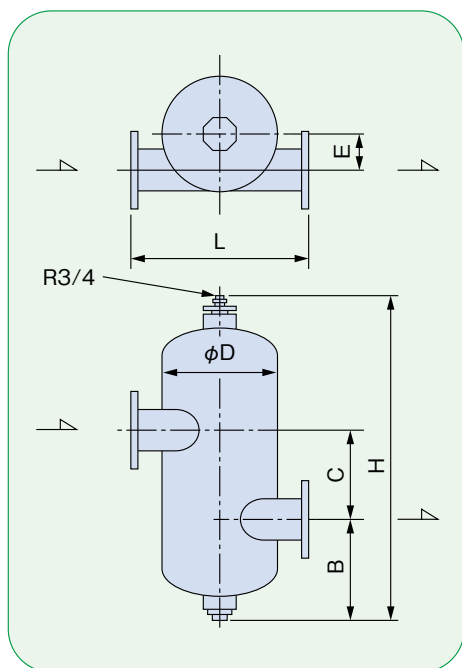
金属管が腐食する原因の1つは酸素です。  
サイクロン形エアークレパレータは水中の空気を分離除去し、酸素を減少させ、腐食を抑制します。

### 表示に関して



**注意** 取り扱いを誤った場合、人的被害や物的損害を生じる可能性があります。

# サイクロン形エアークセパレータ



製品仕様		
材質	型式KBC	鋼製 SS400 溶融亜鉛めっき
	型式KBCS	ステンレス製 SUS304
最高使用圧力	0.98MPa	
使用流体	水	不凍液 ・エチレングリコール ・プロピレングリコール
pH	5.8~8.6	—
最低使用温度	0℃	-5℃
最高使用温度	99℃未満	99℃未満
不凍液濃度	—	50%以下

エアークセパレーター一覧表

形式	口径* (A)	C	φD	E	(mm)			最大流量 (ℓ/min)	質量 (kg)
					(B)	(H)	L		
KBC-40	40	165	140	40	160	620	300	170	13
KBC-50	50	170	165	45	180	665	320	280	18
KBC-65	65	185	216	62	210	700	390	460	28
KBC-80	80	200	267	80	245	860	440	650	44
KBC-100	100	250	319	93	290	980	490	1100	63
○KBC-125	125	300	406	120	320	1180	600	2000	110
○KBC-150	150	350	457	133	360	1270	660	3400	136
○KBC-200	200	450	618	185	395	1330	820	6000	225
○KBC-250	250	580	768	235	460	1650	1100	9000	352
KBCS-40	40	165	140	40	160	620	300	170	11
KBCS-50	50	170	165	45	180	665	320	280	14
KBCS-65	65	185	216	62	210	700	390	460	22
KBCS-80	80	200	267	80	245	860	440	650	30
KBCS-100	100	250	319	93	290	980	490	1100	45
○KBCS-125	125	300	406	120	320	1180	600	2000	52
○KBCS-150	150	350	457	133	360	1270	660	3400	79
○KBCS-200	200	450	610	185	395	1330	820	6000	137
○KBCS-250	250	580	762	235	460	1650	1100	9000	254

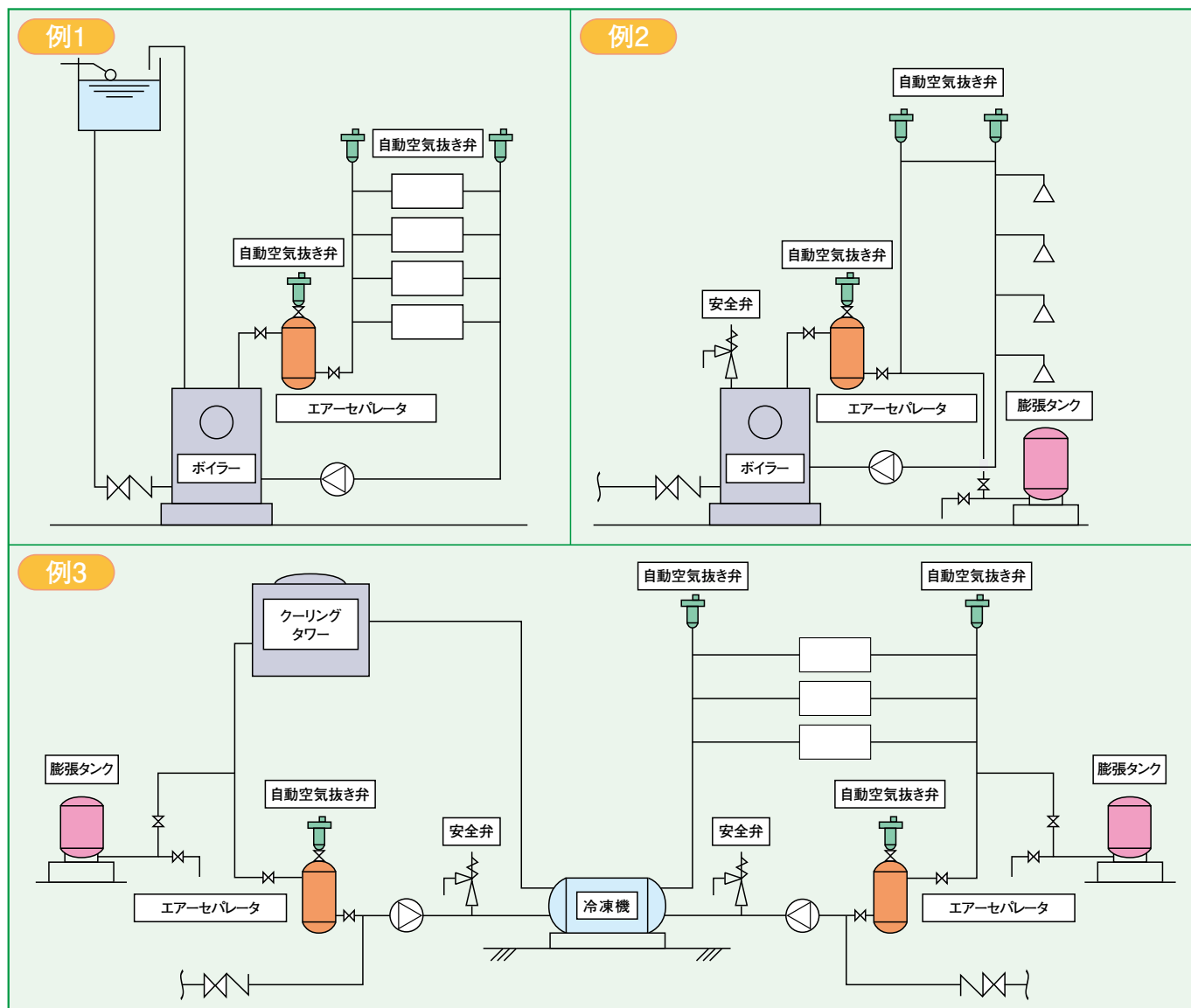
\*口径：フランジ呼び径を示します。(JIS B2220 10Kフランジ)

○印は、受注生産品です。納期につきましては弊社までお問い合わせください。

## ⚠ 注意

- ①ご使用にあたっては、配管材料に合わせてKBC又はKBCSをご使用ください。  
鋼管の配管にKBCS（ステンレス製）、ステンレス鋼管の配管にKBC（鋼製）を接続すると異種金属接触により、鋼製の機器、配管が腐食する危険性があります。  
やむを得ず異種金属接続配管を行う場合には、絶縁フランジ、絶縁継手を用いて、異種金属の間を絶縁してください。
- ②給湯用にご使用される場合は、KBCS（ステンレス製）をご使用ください。KBC（鋼製）を使用すると、溶融亜鉛めっきが剥がれて、腐食する恐れがあります。
- ③ご使用する際には、自動空気抜き弁が必要になります。
- ④ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせください。

# 取付方法



## 設置にあたっての留意事項

- ① エアセパレータ、自動空気抜き弁の取付位置は取付方法例1～例3をご参照ください。
- ② エアセパレータには自動空気抜き弁は付属していません。ご使用されるシステムの圧力によって自動空気抜き弁を選定し取り付けてください。
- ③ 給湯用にご使用される場合は、ステンレス製をご使用ください。
- ④ 不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせください。
- ⑤ 密閉配管にエアセパレータを設置される場合は、必ず配管上に安全弁が設置されていることを確認してください。

・本カタログの掲載内容は2024年3月現在のものです。  
 ・本カタログに掲載の商品は改良などのために、仕様・外観、使用方法などを予告なく変更することがあります。ご購入・ご使用前に最新のカタログをご確認ください。最新のカタログは、当社又は販売店まで、お問い合わせください。最新のカタログは当社ホームページでも閲覧・ダウンロードが可能です。  
 ・本カタログに掲載している商品の色は、印刷の関係上、実際と異なる場合があります。  
 ・本カタログ掲載内容の無断転載を禁じます。  
 ・ご不明な点は、当社までお問い合わせください。  
 ・誤った使用方法、改造、取扱上の不注意や風水害、地震、雷などの天災及び火災、公害（特殊環境）、塩害、戦争、テロなどの不可抗力、その他当社責任と認められない損害には、当社は一切責任を負いません。

取扱店

## 株式会社プロテリアル



<https://www.proterial.com/>

配管機器事業部

<https://www.hyoutan1912.proterial.com/>

本 社 〒135-0061 東京都江東区豊洲五丁目6番36号  
 (豊洲プライムスクエア)

配管機器営業部

☎(044) 385-9381

FAX (03) 6837-2969

高崎営業所 ☎(027) 367-1577

FAX (027) 202-0478

北日本支店 ☎(022) 267-0216

FAX (022) 266-7891

北海道オフィス ☎(011) 806-1786

FAX (011) 806-1792

中日本支社 ☎(044) 385-9385

FAX (052) 307-4807

西日本支社 ☎(06) 7669-3726

FAX (06) 7669-3736

中国支店 ☎(082) 535-1708

FAX (082) 553-0723

九州支店 ☎(092) 687-5263

FAX (092) 687-5266